

**2021 年度「高校生等海外進学支援事業」及び「実践的英語体験活動推進事業」
に係る企画提案公募に関する質問及び回答**

(両事業共通)

	質問	回答
1	要領の 7 審査の方法 (2) 審査基準で、審査項目の配点に関して審査内容ごとの内訳をご教示いただけますでしょうか。	審査項目ごとの配点を審査内容数で按分した点数となります。

(高校生等海外進学支援事業)

	質問	回答
1	短期留学のプログラム費は、個人負担金の金額 (19 万円×50 名) も含めた額で提案を行うのか。	仕様書別紙 2 ページ 2 に記載のとおり、短期留学費には個人負担金を含めます。
2	今年度の進学実績と IELTS 目標スコア取得率をご教示いただけますでしょうか。	今年度の事業が完了していないため、回答できません。
3	今年度受講生の学年の内訳をお聞かせください。	2 年生が 30 名、3 年生が 17 名。
4	今年度はコロナでリーズ大学へ渡航できない中、代替案としてどのようなプログラムを行われたのでしょうか。	リーズ大学とオンラインセッションを実施しています。内容については、府のホームページを参照してください。 http://www.pref.osaka.lg.jp/kanko/osakagi_obal_info/index.html
5	今年度実施の際、各自受講生へタブレットやデバイスの供給がありましたでしょうか。	供給実績はありません。
6	受講期間中、途中辞退者はいらっしゃいましたか。	個別の受講生に係ることでありますので、回答を差し控させていただきます。
7	2020 年度修了生の参加を認めるとありますが、何名ほど再受講される予定でしょうか。 また、修了生のみをのクラスを作り実施は可能でしょうか。	仕様書別紙 10 ページ 5 に記載のとおり、2020 年度の修了生についても他の出願者と同様に選考を受けるため、人数は未定です。また、選考後のクラス編成については、仕様書別紙 3 ページ 3 (1) ①の記載に従って、編成させていただきます。
8	類似実績は 1 枚ではなく、複数枚になってもよろしいでしょうか。	可能です。

(実践的英語体験活動推進事業)

	質問	回答
1	公募要領 P8 の 8 契約手続きについての (2) につきまして、契約金額を精算払いと記載されていますが、毎月の実施ベースでの精算は可能でしょうか。	契約金額の支払いは、事業完了後の精算払いとし、月毎の精算は想定していません。
2	仕様書 P1 の 6 企画例案を求める事項の 5 つの項目以外の内容を企画提案に含めてもよろしいでしょうか。	可能ですが、審査は企画提案を求める事項に対して行われます。
3	同様項目の (2) スケジュールで、教育委員会が指定する最低実施回数又は日数はありますでしょうか。	ありません。

4	(3) 参加生徒募集の際、各学校へのチラシの配布などで大阪府教育委員会にご協力を依頼することは可能でしょうか。	受託者がチラシ・ポスター等を作成し配架・配布等を行う場合、府関係機関等との調整は可能です。
5	(4) カリキュラムで、過去実施したカリキュラム内容やテーマはありますか。	今年度実施内容については、府のホームページを参照してください。 http://www.pref.osaka.lg.jp/kanko/globalex_info/index.html
6	(4) カリキュラムで、「実際予定団体数を明記すること」と記載されていますが、実施団体数とは何を指しますか。	仕様書 3 ページ 7 (参考) (1) に記載の高校等及び中学校等の数を指しています。
7	(4) カリキュラムで、予定するカリキュラムが複数ある場合には各カリキュラムごとの実施予定団体数の記載が必要でしょうか。	不要です。
8	(5) 評価体制では、過去の評価内容の例や結果をご教示ください。	企画提案を求める事項であり、審査に関わるため開示できません。
9	p 3 の (2) プログラムの実施の③留意事項の集計人数につきまして、事前に延べ人数でカウントと回答をいただきましたが、減額の基準も、のべ 1600 名という認識でよろしいでしょうか。	人数のカウントは延べ人数とします。
10	会場について「参加する生徒が通いやすく利便性・安全性が高い会場を確保すること」となっていますが、弊社が所有する施設等を使用してもよろしいでしょうか。また、大阪府が所有する施設の利用は可能でしょうか。	受託者の所有する施設等が左記要件を満たすと判断される場合は使用可能です。大阪府の府有施設の利用は想定していません。
11	120 分以上のレッスンにつきまして、過去に同様の事業で実施された内容について例示していただけますでしょうか。	(回答 5 のとおり)
12	マンツーマンに近い形とはどのような状況を想定されていますか。過去に同様な形式で行われた事業につきまして、生徒何名に対し、外国人講師が何名対応されておりましたでしょうか。	受講生同士が日本語での会話をする暇がなく、プログラム中は英語のみしか使用できない環境をイメージしています。(回答 5 を併せて参照してください)
13	生徒の安全対策としての傷害保険について、加入は必須でしょうか。また加入する場合には、手続きを実施校と協力して行うことは可能でしょうか。	仕様書 3 ページ 7 (2) ③に記載のとおり、受託者の管理下にある間について、傷害保険に加入するなど安全を確保できる体制を求めます。